

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームわがや

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(② 9名)	ユニット名(① 6名)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者さんが地域の中で元気にいつまでも暮らせるように、買い物、地域行事、ご近所付き合いを行い、安心して暮らせるようにする。また入居者さん個人個人の思いに添う介護を提供し、その人らしく暮らせるように支援する。	入居者さんが地域の中で元気にいつまでも暮らせるように、買い物、地域行事、ご近所付き合いを行い、安心して暮らせるようにする。また入居者さん個人個人の思いに添う介護を提供し、その人らしく暮らせるように支援する。	法人の理念とは別に「見守り・待付介護・恥をかかせない・鍵をかけない」を事業所理念としている。職場会議等で理念を掘り下げて話し合い、具体的な目標を決めて日々利用者に関わる際にも意識して取り組んでいる。方針についての報告会も行い、管理者と職員は共有して支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	3つの自治会に加入し地域の防災訓練やお祭り、清掃作業に参加している。回覧板、施設独自の新聞を配布し地域と交流している。また、施設の空きスペースを地域のサークル活動等に解放し、利用者と一緒に参加し交流している。	3つの自治会に加入し地域の防災訓練やお祭り、清掃作業に参加している。回覧板、施設独自の新聞を配布し地域と交流している。また、施設の空きスペースを地域のサークル活動等に解放し、利用者と一緒に参加し交流している。	自治会に加入して利用者と一緒に回覧板を回したり、事業所便りを配布している。事業所の使用していない部屋を地域のサークルの練習、憩いの場として提供し、練習成果を利用者に披露している。また、法人の支部の会が体操教室を開催して、地域の人々にも呼びかけて利用者と一緒に体操をして交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の組織の会合で認知症理解のための講師をしたり、地域交流時に理解を得られるように買い物時等で話をしたり、地域で認知症介護でお困りの方の相談、対応方法など施設体験も行っている。	地域の組織の会合で認知症理解のための講師をしたり、地域交流時に理解を得られるように買い物時等で話をしたり、地域で認知症介護でお困りの方の相談、対応方法など施設体験も行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回(奇数月)に開催し入居者さんへのサービス提供の状況を、「わがやだより」や写真なども交換報告している。またインシデントを報告し、意見や要望が言いやすい環境を作り、参加者に助言やアドバイスを頂き実践に取り入れている。	2ヶ月に1回(奇数月)に開催し入居者さんへのサービス提供の状況を、「わがやだより」や写真なども交換報告している。またインシデントを報告し、意見や要望が言いやすい環境を作り、参加者に助言やアドバイスを頂き実践に取り入れている。	2か月に1回、午後開催している会議には、利用者も全員参加して自己紹介を行っている。参加者は、地域の関係者や包括センター職員、家族、知見を有する者として他の事業所職員の参加もあり、意見や要望をもらうようにしている。事業所からは活動状況や現在取り組んでいる内容についても報告している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に包括支援センターより参加して頂いている。市役所には議事録を送付し報告をしている。包括の職員の方から介護保険等について助言を頂き学ぶ機会にもなっている。市の主催のグループワークに参加し意見交換を行っている。	運営推進会議に包括支援センターより参加して頂いている。市役所には議事録を送付し報告をしている。包括の職員の方から介護保険等について助言を頂き学ぶ機会にもなっている。市の主催のグループワークに参加し意見交換を行っている。	市の担当者には、運営推進会議の議事録を送付して事業所の実情を伝えている。また、入居している生活困難者について、手続や支援について担当者に相談している。市主催のグループワーク「顔の見える交流会」にも参加して、地域の医療・福祉関係者との繋がりを築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	言葉1つも拘束であることを学習会を通じ、職員全員が理解し拘束を行わない介護を実践している。また職員間でお互いのケアについて日常的に意見合っている。年に一度は教育の一環として身体拘束の疑似体験研修を行っている。	言葉1つも拘束であることを学習会を通じ、職員全員が理解し拘束を行わない介護を実践している。また職員間でお互いのケアについて日常的に意見合っている。年に一度は教育の一環として身体拘束の疑似体験研修を行っている。	職場会議で身体拘束についての学習会を行い内容とその弊害を理解しケアに取り組んでいる。外に出て行く様子を察知したら止めるのではなく一緒について行き、自由な暮らしを支えるようにしている。利用者の行動を制限するような言葉かけに気づいた時は職員間で注意し合ったり、話し合いの場を持っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的な学習会を行うことと、お互いのケアについて職場会議などで意見交換し、気付きを持つようケアの質の向上に努めている。	定期的な学習会を行うことと、お互いのケアについて職場会議などで意見交換し、気付きを持つようケアの質の向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修を通して学ぶ機会をつくり、施設内学習会で職員間で共有し、家族から相談が合った場合は対応できるようにしている。	施設外研修を通して学ぶ機会をつくり、施設内学習会で職員間で共有し、家族から相談が合った場合は対応できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ユニット①と全く一緒の方法で行っている。契約時に重要事項、利用契約、運営規定、看取りの指針、利用料金等の説明を行い、理解、納得して頂いた上で契約に至っている。途中疑問があれば連絡を頂き説明し文章等で連絡、説明している。	契約時に重要事項、利用契約、運営規定、看取りの指針、利用料金等の説明を行い、理解、納得して頂いた上で契約に至っている。疑問に思うことがあれば、その都度説明し、加算等で変更がある時は運営推進会議や文章にし説明をしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームわがや

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(② 9名)	ユニット名(① 6名)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議などで、ご家族や地域の方々より意見や要望を気軽に話す機会を設けている。入居者からは、日々かかわる中で気軽に話せるような雰囲気を作り支援に繋げている。	面会時や運営推進会議などで、ご家族や地域の方々より意見や要望を気軽に話す機会を設けている。入居者からは、日々かかわる中で気軽に話せるような雰囲気を作り支援に繋げている。	面会時や定期受診で家族が来た時に、部屋担当職員や管理者・他の職員も声を掛けて、気軽に話をしてもらえるように配慮している。南向きと北向きでは部屋の温度差があり、「日が当たるまで部屋のエアコンを切らないでいてほしい」との要望が家族からあり対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要時にスタッフ会議を設け、月2回の職場会議で意見交換を行っている。日常の中でも要望や意見はその都度聞き、支援や運営に生かしている。管理者は定期的に面談し意見を引き出す機会を作っている。	必要時にスタッフ会議を設け、月2回の職場会議で意見交換を行っている。日常の中でも要望や意見はその都度聞き、支援や運営に生かしている。管理者は定期的に面談し意見を引き出す機会を作っている。	職場会議で職員からの意見を聞いている。日常的な関わりの中から出された意見は会議で話し合い、出された意見、職員交代時間を利用者の状態に合わせた勤務体制に変更し支援に繋げた。また、備品等の要求も聞いて対応している。個人面談では、年度始めの目標達成や意見・要望等を聞いている。	
12		○就業環境の整備 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	教育、研修制度が確立しているため、段階ごとや年齢層にあわせた就労環境を作り、働きやすい職場を作っている。職場での意見交換も積極的にし情報を共有している。給与など労働条件は組合を通じ要望している。	教育、研修制度が確立しているため、段階ごとや年齢層にあわせた就労環境を作り、働きやすい職場を作っている。職場での意見交換も積極的にし情報を共有している。給与など労働条件は組合を通じ要望している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保し、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員会が主体となり事例検討会やテーマ別の研修会を開催し実施している。キャリアアップ助成金を得て有期実習型訓練を実施した。形成事業や認知症研修など様々な研修に参加している。	研修委員会が主体となり事例検討会やテーマ別の研修会を開催し実施している。キャリアアップ助成金を得て有期実習型訓練を実施した。形成事業や認知症研修など様々な研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協会に加入し、研修を通じ他事業所の見学など参加している。他事業所の運営推進会議にも参加し、情報交換をしながらサービスの向上に努めている。	GH協会に加入し、研修を通じ他事業所の見学など参加している。他事業所の運営推進会議にも参加し、情報交換をしながらサービスの向上に努めている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境に慣れて頂けるように、利用者さんからお話を伺い、入居に至るまでの生活を面談記録などから理解し、利用者さんの希望に添えるように、努力している。ご本人の不安軽減のためにお試し期間も行い、ご希望に添えるように計らった。	新しい環境に慣れて頂けるように、利用者さんからお話を伺い、入居に至るまでの生活を面談記録などから理解し、利用者さんの希望に添えるように、努力している。ご本人の不安軽減のためにお試し期間も行い、ご希望に添えるように計らった。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ユニット①と同様の方法で行っている。ご家族から直接お話を伺い、今何にお困りなのか、直面しているのかを聞かせて頂いている。またわがやの生活をする中で要望も伺い、その都度連絡をとりながら関係作りをしている。	ご家族から直接お話を伺い、今何にお困りなのか、直面しているのかを聞かせて頂いている。またわがやの生活をする中で要望も伺い、その都度連絡をとりながら関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	申し込みから面談、見学受け入れなど、またケアマネからの情報も得ながら、入居に至るまで入居者さんやご家族の状況を伺いながら、アセスメントを行い必要時間関係機関と連携をとり、支援させて頂いている。	申し込みから面談、見学受け入れなど、またケアマネからの情報も得ながら、入居に至るまで入居者さんやご家族の状況を伺いながら、アセスメントを行い必要時間関係機関と連携をとり、支援させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居に至るに当り、生活暦を聞かせて頂いたり、生活する中でまた面会時、ご家族からお話を伺い、入居者さんの得意分野を教えて頂き、感謝や労いの言葉を伝え、一緒に時間を共有し、関係づくりをしている。	入居に至るに当り、生活暦を聞かせて頂いたり、生活する中でまた面会時、ご家族からお話を伺い、入居者さんの得意分野を教えて頂き、感謝や労いの言葉を伝え、一緒に時間を共有し、関係づくりをしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームわがや

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(② 9名)	ユニット名(① 6名)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時はもちろん、生活の中で気づいたことはご家族に伝え、状況をお話する。そこからご家族や入居者さんも交え、考えて支援につなげている。外泊、外出時は特に同様の支援が出来るよう家族の方の理解も得ながら関係性を作っている。	面会時はもちろん、生活の中で気づいたことはご家族に伝え、状況をお話する。そこからご家族や入居者さんも交え、考えて支援につなげている。外泊、外出時は特に同様の支援が出来るよう家族の方の理解も得ながら関係性を作っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お墓参りや昔からの馴染みの場所に行ったり、近所を通ったりし、思い出せるようなきっかけづくりに努めたり、面会へ働きかけている。	お墓参りや昔からの馴染みの場所に行ったり、近所を通ったりし、思い出せるようなきっかけづくりに努めたり、面会へ働きかけている。	入居前に行っていた神社に初詣や、勤めていた職場、住んでいた家の様子、近所のお店に寄ってくるなど馴染みの場所との関係が途切れないよう支援している。また、以前からの美容院に家族と一緒にいたり、入居してから行っている美容院が新たな馴染みになり、人とのつながりを築いている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が互いに支えあえるような支援に努めている	入居者さん全員で話し合う時間を毎日作っている。入居者さんの生活歴や、家族構成を理解し、きっかけ作り等職員が橋渡しをしたり、間に入り、支えあうような働きかけを行っている。	入居者さん全員で話し合う時間を毎日作っている。生活歴や、家族構成を理解し、きっかけ作り等職員が橋渡しをしたり、間に入り、支えあうような働きかけを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	看取り支援をさせて頂いた方は、度々来て下さりお話をする機会もあり、必要があれば相談ごとも伺っている。契約が終了しても遊びに来られたり、体調のこと、支援サービス等の相談にのっている。	入居され、わがやの生活をすることにより、生活感覚が戻り、自宅に退所されるケースもあった。デイに通い、わがやに立ち寄りなど利用者さん、ご家族との関係を継続し支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で要望やその時の気持ちを伺い、支援につなげている。またアセスメントや毎月のモニタリング、日々の記録や言動を理解し、入居者さん本位になるように支援している。家族の意向も確認し対応している。	日々の関わりの中で要望やその時の気持ちを伺い、支援につなげている。またアセスメントや毎月のモニタリング、日々の記録や言動を理解し、入居者さん本位になるように支援している。家族の意向も確認し対応している。	朝のあいさつの時から利用者がどのように過ごしたいか、表情を見ながら声かけをして、耳を傾けるように支援している。困難な場合は、繰り返して行う行動やしぐさなどからキャッチして、本人の要望を把握して職員間で共有している。また、要望用紙を作って利用者から情報を得るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に情報収集させていただき、日々生活する中で入居時に知りえなかった事、発見につながる事など職員間で情報を共有し把握に努めている。	入居前に情報収集させていただき、日々生活する中で入居時に知りえなかった事、発見につながる事など職員間で情報を共有し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の記録や、健康管理表は毎日必ず職員は、把握できるようにと目を通して。毎日朝夕で申し送りを行い、確認もしている。	日常生活の記録や、健康管理表は毎日必ず職員は、把握できるようにと目を通して。毎日朝夕で申し送りを行い、確認もしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活、記録の中からケアプランを作成し、入居者さんの言葉(思い)を汲み取り、ご家族の思いや気持ちも取り入れ優先順位を検討し計画を立てている。また、職場会議でモニタリングを行い現状に即した介護計画を立てている。	日々の生活、記録の中からケアプランを作成し、入居者さんの言葉(思い)を汲み取り、ご家族の思いや気持ちも取り入れ優先順位を検討し計画を立てている。また、職場会議でモニタリングを行い現状に即した介護計画を立てている。	入居時に利用者、家族の意見、希望等に基づき1か月の介護計画を作成している。日頃のかかわりの中からアセスメントを含め職員全員で話し合い、優先順位を検討し利用者、家族等の意見・要望を反映した介護計画を作成し、3か月後にモニタリングを行い現状に即した計画を立てている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録の中で変化や、入居者さんの言動を記録に残し、関わりポイントを職員間で確認したりミニカンファをしたり、朝夕の申し送りで共有しながら介護の必要性や見直しを行い支援している。	日々の記録の中で変化や、入居者さんの言動を記録に残し、関わりポイントを職員間で確認したりミニカンファをしたり、朝夕の申し送りで共有しながら介護の必要性や見直しを行い支援している。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームわがや

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(② 9名)	ユニット名(① 6名)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関の医師や主治医、看護師、リハビリ、福祉用具、マッサージ導入など入居者さんにとり何が必要かを家族も含め、考え支援している。靴1足でもフィッティングし、足に合ったものを購入できるようにサービスを利用している。	協力医療機関の医師や主治医、看護師、リハビリ、福祉用具、マッサージ導入など入居者さんにとり何が必要かを家族も含め、考え支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭に作品を出品、参加し地域と交流を図っている。また季節行事では地域の物品をお借りして、地域の方も招き楽しむ事が出来るよう支援している。	地域の文化祭に作品を出品、参加し地域と交流を図っている。また季節行事では地域の物品をお借りして、地域の方も招き楽しむ事が出来るよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医を基本に受診している。受診時は最近の様子を文書にして状況を伝えるようにしている。必要な時は電話で指示をもらうことや、受診同行もしている。入居者や家族の状況に応じて対応できるよう情報を収集している。	今までのかかりつけ医を基本に受診している。受診時は最近の様子を文書にして状況を伝えるようにしている。必要な時は電話で指示をもらうことや、受診同行もしている。入居者や家族の状況に応じて対応できるよう情報を収集している。	入居前からのかかりつけ医を全員の利用者が家族同行で定期受診している。受診時には日常の様子を文章にして家族に渡している。受診結果は病院から文章または電話で報告があり、情報を共有している。訪問歯科、皮膚科の往診もあり対応している。緊急時は職員が付き添い受診し家族に連絡している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の関わりの中で「いつもと違う」ことは報告し早期発見、早期受診を行うようにしている。何事も早めの報告を心がけ、判断を仰いでいる。内服薬も看護師の指導の下で管理している。	日々の関わりの中で「いつもと違う」ことは報告し早期発見、早期受診を行うようにしている。何事も早めの報告を心がけ、判断を仰いでいる。内服薬も看護師の指導の下で管理している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病状確認と今後の治療内容は、ご家族と連絡をとりあい、確認しながら退院に向けた話し合いを持つ関係性を作っている。カンファレンスは必ず開催している。	病状確認と今後の治療内容は、ご家族と連絡をとりあい、確認しながら退院に向けた話し合いを持つ関係性を作っている。カンファレンスは必ず開催している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時看取りの指針説明や更新時に入居者さんやご家族の気持ちを確認して、状況をその都度確認しながら話し合いの中で方針を決めている。かかりつけ医の往診も欠かせないことなのでかかりつけ医との連携も大切にしている。また、法人内の訪問看護とも相談が出来る体制を取っている。	入居時看取りの指針説明や更新時に入居者さんやご家族の気持ちを確認して、状況をその都度確認しながら話し合いの中で方針を決めている。かかりつけ医の往診も欠かせないことなのでかかりつけ医との連携も大切にしている。また、法人内の訪問看護とも相談が出来る体制を取っている。	入居時に事業所が対応し得るケアについて説明をしている。更新時等に話し合いの機会を作り、病院での看取りか事業所での看取りかについて確認しながら方針を決めている。利用者、家族の納得が得られるように状況の変化のたびに話し合いを繰り返して、医療連携体制を整え支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の生活の中で体調の変化に応じた、マニュアルを作成している。AEDを設置し、学習会にも取り組み、いざと言うとき実行できるよう努めている。	日々の生活の中で体調の変化に応じた、マニュアルを作成している。AEDを設置し、学習会にも取り組み、いざと言うとき実行できるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	各災害を想定した訓練を行っている。避難では、シートで包む等工夫している。地域の消防団や自治会長、民生委員といつでも協力体制が得られ連絡網訓練を行っている。運営推進会議でも地域の方に防災訓練の講評をしていただいている。	各災害を想定した訓練を行っている。避難では、シートで包む等工夫している。地域の消防団や自治会長、民生委員といつでも協力体制が得られ連絡網訓練を行っている。運営推進会議でも地域の方に防災訓練の講評をしていただいている。	火災、地震、水害、積雪を想定した避難誘導訓練を年2回実施している。また、入居者も含め夜間を想定した訓練も行っている。参加できなかった職員も情報を共有している。災害時にリーダーが職員それぞれに役割分担の指示が出せるように訓練している。また避難所として市と契約して地域の協力体制を築いている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として入居者さんの人格や気持ちに配慮し尊重した対応を心掛けている。また、理念にもある恥を欠かせないケアについて定期的に学習会を行い意識している。	人生の大先輩として入居者さんの人格や気持ちに配慮し尊重した対応を心掛けている。また、理念にもある恥を欠かせないケアについて定期的に学習会を行い意識している。	利用者の生活歴、職歴からその人に合った言葉使いで対応している。「恥をかかせないケア」を心がけ、出来ることを積み重ねて出来る事の見極めをしっかりとりにしている。トイレ誘導では、利用者をイニシャルで呼び、トイレを1番として配慮した対応をしている。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームわがや

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(② 9名)	ユニット名(① 6名)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎朝、入居者さんの希望要望を伺ったり、汲み取ったりする時間をつくり働かしている。生活の中で「外に行きたい」「お寿司が食べたい」「海苔無いかから買いたい」など、思いに添えるように支援している。	毎朝、入居者さんの希望要望を伺ったり、汲み取ったりする時間をつくり働かしている。生活の中で「外に行きたい」「相撲・野球が見たい」「歌が歌いたい」「体操したい」「横になりたい」など、思いに添えるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎朝、体調や天気、思いや希望によって支援している。自分で判断することが難しい方にはその方の様子をアセスメントし適した支援を行えるように心掛けている。	決まりはなく毎朝、体調や天気、思いや希望によって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族と一緒に美容院に行ったり、長髪の方は髪結い支援や、男性は髭そりが毎日出来るように支援している。洋服もできるだけ自分で選択できるようにお手伝いしたり、朝、入浴後など整容、外出時のお化粧等支援している。	ご家族と一緒に美容院に行ったり、男性は髭そりが毎日出来るように支援している。洋服もできるだけ自分で選択できるようにお手伝いしたり、朝、入浴後など整容、外出時のお化粧など支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や誕生日に合わせて好みを伺い、食事が楽しみとなるよう支援している。入居者さんの出来る事を見極め、野菜切りやお米とぎ、テーブル拭きやお茶いれ、下膳も出来る時に食器をまとめたり、下げたり、洗い、拭き等全般に行っていたいっている。	季節や誕生日に合わせて好みを伺い、食事が楽しみとなるよう支援している。入居者さんの出来る事を見極め、野菜切りやお米とぎ、テーブル拭きやお茶いれ、下膳も出来る時に食器をまとめたり、下げたり、洗い、拭き等全般に行っていたいっている。	献立を決めてしまわずに、冷蔵庫にある材料や家族等からいただいた野菜を利用して、一汁三菜を基本として朝・夕食は職員が作っている。利用者に作れる物を聞いている。昼食は調理専門の職員が作り、食器洗い、下ごしらえ、味付け等利用者の出来る事を職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の様子や健康チェック表を把握し記録に残し、水分はこまめに、飲みたいもの、飲める物を提供したり、食事の内容、形態を工夫したりしている。	日々の様子や健康チェック表を把握し記録に残し、水分はこまめに、飲みたいもの、飲める物を提供したり、食事の内容、形態を工夫したりしている。必要に応じてはトロミを利用することもある。		
42		○口腔内の清潔保持	毎食後口腔ケアを行い、出来る場所は入居者さんが行い、出来ないところや、磨き残しはお手伝いしている。夜間義歯は預かり管理している。自分の歯で食事が取れるように歯科往診につなげ、支援している。	毎食後口腔ケアを行い、出来る場所は入居者さんが行い、出来ないところや、磨き残しはお手伝いしている。夜間義歯は預かり管理している。自分の歯で食事が取れるように歯科往診につなげ、支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を利用し時間を確認する中で分析し、トイレで排泄出来るように支援につなげている。日中はできるだけ綿パンツで過ごして頂いている。個別の排泄行為の手順書を職員全員で作成し支援をおこなっている。	排泄表を利用し時間を確認する中で分析し、トイレで排泄出来るように支援につなげている。日中はできるだけ綿パンツで過ごして頂いている。個別の排泄行為の手順書を職員全員で作成し支援をおこなっている。	排泄チェック表を使用し時間を見はからって日中・夜間共にトイレで排泄できるように支援している。日中は小さなバットを使用し綿パンツに近い感覚で過ごすようにして、日中と夜間でバットの大きさを替えている。トイレの一連の動作を見極めてできる行為の確認をとりながら一人ひとりの対応を職員間で共有している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食品や起床時の冷水、牛乳や乳製品、センナ茶など、排便が促せるようにしている。座位を保つことの大切さや体を動かし、自然排便ができるように支援している。	繊維質の多い食品や起床時の冷水、牛乳や乳製品、センナ茶など、排便が促せるようにしている。座位を保つことの大切さや体を動かし、自然排便ができるように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	順番は決まっていないが、本人の希望時間に添えるよう対応している。個浴で好みの湯加減でゆっくり入っていたり、職員と話す機会ともなり、楽しまれている。	順番は決まっていないが、本人の希望時間に添えるよう対応している。個浴で好みの湯加減でゆっくり入っていたり、職員と話す機会ともなり、楽しまれている。	毎日、午後から入浴出来るように準備はしてある。基本的には2日に1回、健康チェック表を確認してから入浴するようにしている。シャンプー、リンスは共有の物を使っているが、乳液、ボディローションは個別となっている。一人ひとりの気持ちや習慣に合わせた入浴支援をしている。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームわがや

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(② 9名)	ユニット名(① 6名)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者さんの生活習慣や体調に合わせた支援をしている。休まれたり、リネン、寝具の洗濯や布団干しを行いよく休んで頂けるように支援している。	入居者さんの生活習慣や体調に合わせた支援をしている。と休まれたり、リネン、寝具の洗濯や布団干しを行いよく休んで頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者さん個々の薬局から出される説明書は必ず読み内容を理解するようにしている。薬セットから、日にちセットなど必ず2人体制で、飲みこむまで確認している。薬が増えたときは、食欲や様子を観察し変化あるときは主治医に情報提供している。	入居者さん個々の薬局から出される説明書は必ず読み内容を理解するようにしている。薬セットから、日にちセットなど必ず2人体制で、飲みこむまで確認している。薬が増えたときは、食欲や様子を観察し変化あるときは主治医に情報提供している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者さんの出来る事、その日の体調にあわせ、外出や食事づくり、趣味、歌、体操などを含めた支援を行っている。	入居者さんの出来る事、その日の体調にあわせ、外出や食事づくり、趣味、歌、体操などを含めた支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の関わりの中で、入居者さんから意見や要望を聞く機会を作ること、何気なく発した会話から日常的な外出支援に努めている。また、買い物や散歩、回覧版まわし、地域新聞配りと一緒にしている。その他にも、季節に合わせた外出企画を立て、戸外に出かけられるよう支援している。	日々の関わりの中で、入居者さんから意見や要望を聞く機会を作ること、何気なく発した会話から日常的な外出支援に努めている。また、買い物や散歩、回覧版まわし、地域新聞配りと一緒にしている。その他にも、季節に合わせた外出企画を立て、戸外に出かけられるよう支援している。	日常的には庭に出て、職員と一緒に洗濯物を干したり、事業所周辺を散歩している。利用者のその日の希望を聞いて個別での外出や足湯など積極的に外出している。外出企画では、職員の実家の桃のハウス、小瀬、武田神社、風土記の丘の桜、善光寺のアジサイ、紅葉見物、イチゴ狩り等季節を感じることができるような場所を選んで外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には金銭の預かりをしていない。しかし、お小遣いとして、財布を持つ方は入居者さんの買い物支援として繋げている。	基本的には金銭の預かりをしていない。しかし、お小遣いとして、財布を持つ方は入居者さんの買い物支援として繋げている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中見舞いなど大切な人に入居者さん自身が書き送り、返事も楽しみのひとつになっている。ご家族様からの手紙も本人様と一緒に読まれている。	年賀状や暑中見舞いなど大切な人に入居者さん自身が書き送り、返事も楽しみのひとつになっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるような空間作りを努めている。入居者さんが思い思いに過ごせるようユニットの行き来の制限はしていない。換気や室温、乾燥には十分注意を払っている。声や足音には配慮し、入居者さんに分かりやすい言葉で表示し、心地よく過ごせるように支援している。	季節感を感じられるような空間作りを努めている。入居者さんが思い思いに過ごせるようユニットの行き来の制限はしていない。換気や室温、乾燥には十分注意を払っている。声や足音には配慮し、入居者さんに分かりやすい言葉で表示し、心地よく過ごせるように支援している。	6階建ての3階のエレベーターを降りたところが事業所で2ユニットになっている。ユニット間の行き来は自由にできて、各所に椅子やソファが置かれて、利用者同士の会話やくつろぎの場所になっている。共用空間には生活感、季節感のあるものを飾るように配慮して、居心地のよい空間づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	決まった席はあるが、ソファに座ったり、ユニットを自由に歩きまわして、行きたい所など、入居者さん自身が過ごしたいように支援している。居室が離れたところにある方は途中で一休み出来るようにイスを置いてある。	決まった席はあるが、ソファに座ったり、ユニットを自由に歩きまわして、行きたい所など、入居者さん自身が過ごしたいように支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた家具や寝具、小物などを持ってきて頂き、入居者さん自身が安心して生活できるように、また、身体の状態に合わせた居室作りを、ご家族と考え工夫している。	入居時に使い慣れた家具や寝具、小物などを持ってきて頂き、入居者さん自身が安心して生活できるように、また、身体の状態に合わせた居室作りを、ご家族と考え工夫している。	居室にはカーテン、照明器具、時計、エアコン、押し入れが備えてある。テレビ、整理ダンス、ぬいぐるみ、写真等馴染みの物を持ち込み、その人らしく過ごせるような部屋作りがされている。また、ペットの習慣のない利用者は入居前と同じように床に布団を敷いて就寝する生活をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、廊下など手すりがつけてあり、浴室も出入浴がご自身で出来るだけ出来るようになっており、所々に椅子も置き、安全に生活動作にあわせた、すべり止めや、予防の為にセンサーマットも利用している。	トイレや浴室、廊下など手すりがつけてあり、浴室も出入浴がご自身で出来るだけ出来るようになっており、所々に椅子も置き、安全に生活動作にあわせた、すべり止めや、予防の為にセンサーマットも利用している。		